

高浜市立吉浜小学校 令和5年度の取組



教育目標 強いからだと美しい心をもった児童を育成する

- 考える子
- 健康な子
- 素直な子



目指す子ども像「ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子」

学校経営ビジョン

自立した大人になるための基盤を育み、自信と希望をもって生きていくことができる力を育むための学びを保障する教育を追究する

経営方針

- ① 教員の授業力向上を図る
(子どもが聴き合い、考え、語り合い、ともに学びを深める授業を目指す)
- ② 学年・学級経営の充実
(ありがたい学年・学級の姿を子どもたちと共有し、PDCAサイクルを活用して行う)
- ③ 子どもの主体性を育む
(子ども自身が自分を育てるという主体的な態度を身につけられるよう学校・学年行事や児童会活動等への支援を強化する)
- ④ 地域愛を育む教育活動の展開
(地域の方々と協働し、感謝する心と地域愛が育つ活動を行う)
- ⑤ 教職員の働き方改革に係る業務改善
(教職員が心身ともに健康で、毎日、笑顔で子どもたちの前に立つことができるよう業務改善を進める)



ともに学びを深める授業



主体性を育むペア交流



自ら創りだしたフラッグ演技



地域愛を育む菊人形制作



ともに学びを深めようとする子

- ・ふだんの授業や学級での活動の中で、子どもの聴く力、話す力を伸ばしていきます。
- ・学習課題の工夫等により、子どもの学習に対する意欲、課題に対する追究意欲を高めていきます。
- ・主体的・対話的で深い学びのある授業の創造により、ともに学びを深めようとする子どもを育てます。

主体的に活動できる子

- ・PDCAによる学級経営により、子どもが互いのよさを認め合い、自分の成長に気づきながら自己向上力を育む学級づくりを進めます。
- ・学校行事や児童会活動等を、子どもが、「自ら企画、協働して実行、振り返り」を行えるようにするとともに、その活動を賞賛することで、子どもの主体性を育てます。

感謝する心をもつ子

- ・地域の方々との野菜栽培、福祉実践教室、菊人形・細工人形制作等の活動を通して、感謝の心と地域愛を育みながら、ふるさとに誇りを持ち、地域に貢献しようとする子どもを育てます。
- ・学校と保護者・地域との連携を密にし、保護者や地域の方と協働して心豊かな児童の育成に努めます。

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	
十四日(木) 六年給食終了 十八日(火) 一年～五年給食終了 十九日(火) 卒業証書授与式 二十二日(金) 修了式	一日(木) 入学説明会 五日(月)～九日(金) 学習発表週間	十日(水) 書き初め会 十七日(水)～十九日(金) 書き初め展 二十八日(日) 高浜シテイマラソン	十八日(月)～二十一日(木) 個別懇談会 十九日(水) 給食終了	一日(水) 就学時健診 十八日(土) 授業参観 二十四日(金) 県民の日学校ホリデイ	十日(火) 後期始業 二十二日(日)～二十三日(月) 修学旅行 二十八日(土) 小中学校音楽会	六日(金) 前期終業式 十日(月) 避難訓練 二十九日(金) 校外学習	四日(月) 避難訓練 九日(水)～十五日(火) 学校閉校日 二十一日(月) 全校出校日	九日(水) 給食終了 十三日(木)～十八日(火) 個別懇談会 十九日(水) 給食終了	一日(木) 運動会 十八日(日)～十九日(月) 緑の学校 二十四日(土) 高浜市少年の主張大会	十二日(金) 校外学習	六日(木) 入学式・始業式 十三日(木) 給食開始 二十二日(土) 授業参観・PTA総会 二十七日(木)～五月二日(火) 家庭訪問	六日(木) 入学式・始業式 十三日(木) 給食開始 二十二日(土) 授業参観・PTA総会 二十七日(木)～五月二日(火) 家庭訪問

今年度の主な予定

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和5年4月6日 No.1

1 ご入学・ご進級おめでとうございます



春爛漫の中、入学式・始業式を終え、令和5年度がスタートしました。4月6日、登校した子どもたちは新しい学級を確認し、友達と一緒に歓声を上げながら新しい教室に向かっていきました。3月の修了式の日で大泣きして帰った子どもたちも素敵な笑顔を見せていました。期待に胸をふくらませて登校してきたことがよく分かりました。

新2年生から新6年生の始業式では、この1年間の目標を一つもって欲しいこと、その目標はとてつもなく大きなものではなく、1年間がんばればなんとか達成できそうなことに決めて欲しいことを話しました。

入学式では、新6年生と保護者の皆様が見守る中、121名の希望に満ちた元気な新1年生を迎えました。入学式では、時間を守ること、交通事故など安全に気をつけること、挨拶や返事をするなどの3点について話し、保護者の皆様に家に帰った後、お子さんに聞き返して欲しいとお願いしました。そして、子どもの話を聞いて、よく聞いていたねと褒めてあげて欲しいことをお願いしました。

子どもは認め、褒められ自信をつけると自己肯定感を抱くようになります。自己肯定感とは自分らしさとともに、自分自身が価値ある存在であると確認できることを指しています。この感情が高いと、人はいろいろなことに意欲的に取り組み、満足感を重ね、自分にも他人にも受容的になれるものです。しかし、自己肯定感が低いと、自己否定感が強くなり、少しのつまずきでも心が折れやすくなっていくものです。

子どもですからできないことやうまくいかないことがあるのは当たり前です。できないことは確かに気にはなりますが、それよりもできたことや、頑張っていることに目を向け、それを認め励ますこと、これを繰り返していくことを大切にしたいと考えています。

2 令和5年度の吉浜小学校教職員です～よろしくお祈いします～

[校長] 鈴木 剛 [教頭] 本多みちよ [教務主任] 門脇由美子 [校務主任] 森田 泰行
 [養護教諭] 渡邊亜季 [栄養教諭] 大村 伸恵 [主任] 岩瀬 由子 [主事] 高橋 菜央
 [専科] 福井 礼子・稲垣めぐみ・村越 克実・竹内 華子
 [日本語指導] 杉浦紗織里・水上愛美 [通級指導] 都築美由紀
 [少人数指導] 中村 美樹・野々山直美・松田 純子 [初任研補充] 松田 純子・竹内 華子
 [スクールアシスタント] 金山 尚子・竹巻 明里・磯部 史織・鈴木亜希子 [学校司書] 松村 宏子
 [スクールポーター] 神谷 悠一・杉浦 貴子 [スクールカウンセラー] 関山みさき [ALT] 浜田レイチェル
 [用務員] 土川 直子 [校務補助員] 加藤 瑤子 [通訳者] トルクワットパトリシア
 [プログラミング教育支援員] 加藤 正直 [ICT支援員] 杉浦己喜夫

学級	担任名	学級	担任名	学級	担任名	学級	担任名
1年1組	清水 充未	2年1組	有川 慎吾	3年1組	増田 彩子	4年1組	杉山 梢
1年2組	森山咲里奈	2年2組	兵藤 聖子	3年2組	杉浦 佳樹	4年2組	杉浦 未夢
1年3組	松尾 桂一	2年3組	幸野 朱里	3年3組	佐野あゆみ	4年3組	杉山小裕美
1年4組	鳥山裕美子	2年4組	間瀬 智広	3年4組	深津 諭	4年4組	野村 尚之
合計	118名	合計	118名	合計	110名	合計	125名
学級	担任名	学級	担任名	学級	担任名		
5年1組	木下 淳子	6年1組	杉浦沙弥香	よしのめ1組	永田伊都子	男子	354名
5年2組	神谷菜里子	6年2組	吉原 大貴	よしのめ2組	齋藤 裕子	女子	387名
5年3組	竹本 海	6年3組	新美 有希	よしのめ3組	廣瀨真理子	合計	741名
5年4組	鶴飼 恭子	6年4組	杉浦 亘	よしのめ4組	田中 智恵		
-	-	-	-	よしのめ5組	杉村 奈帆		
合計	115名	合計	130名	合計	25名		

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和5年4月7日 No.2

新年度2日目

令和5年度、2日目。新しい仲間、新しい先生とともに新しい気持ちでの学校生活がスタートしています。私たち教員の使命は子どもたちに、「生きる力」を育むことです。「生きる力」とは、「確かな学力、豊かな人間性、健康・体力」であり、この知・徳・体をバランスよく育てることが求められています。その土台としてよりよい学級集団を創り、その中で子どもと教員はもちろん子どもたち同士によりよい関係を築いていくことが必須です。よって年度初めの学級の立ち上げにはどの担任も力を入れています。本日も各学年各学級においてさまざまな取組が見られましたので紹介させていただきます。



ある学級の様子です。年度初めのため提出してもらう書類等がたくさんあります。担任の先生はできるだけ効率よく提出するためにはどうしたらよいかと子どもたちに投げかけました。子どもたちはいろいろ考え、「名簿番号の後ろから順に前に出しに行く」という方法に決めました。実際に前に提出に来た段階で、担任に見やすい向き、つまり手前を上にして提出するとよいのではないかと相談し、改善が図られていました。教員がこのように提出と指示してしまえば済むことですが、子どもたちに考える機会を与え、考えたことを褒め、今後の学校生活につなげていく、担任の思いがよくわかる一場面でした。



次の写真はある学級の「朝の読書」の時間の様子です。見ていただきたいところは担任も一緒に読書をしているところです。子どもは、「言う」ようにはなかなかありませんが、「する」ようにはなるものです。いくら教員がもっともらしいことを言い聞かせたところで、子どもはそう簡単には動きません。ところが、教員が何気なく振舞うその無意識の言動、つまり、後ろ姿から、子どもは教員の生き方を我がものとして身に付け、心にしみ込ませていくものです。「教員」は「大人」「父母」など、他の言葉に置き換えてもよいと思います。「静かに読書をしよう」の一言よりも、教員が自ら真剣に読書をする姿を見せることの方が子どもに与える影響は大きいと私も思っています。



いちばん左の写真はある学級の子どもたちが学級写真の撮影場所である体育館に移動するために並んでいる場面です。話を聴いていると、どのように並び、どのように移動するのかをみんなで考えたようです。「他のクラスは授業中であるため迷惑にならないように静かに移動する」など、アイデアを出し合って、決めたとおり立派に写真撮影に向かっていきました。

右の2枚は、2名の担任の先生がそれぞれ撮影していた場面を私も撮ってみました。この写真を子どもたちに見せ、思ったことを聞きながらどうあるとよいかを考えてもらうとのことでした。

各学級で子どもたちを伸ばすさまざまな取組が行われていると思います。ご家庭でもお子さんと話題にしていただけたらと思います。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和5年5月2日 No.11

運動会に向けて



6月1日の運動会に向けた練習が始まりつつあります。6年生は、今年度も、「フラッグ演技」に取り組みます。6年生は5年生の頃、昨年度の6年生からフラッグ演技の技を教えてもらっていました。昨年度の6年生が、「5年生には技だけでなく、気持ちも伝えたい」と話してくれたことがありましたが、技術だけでなく、心や気持ちのもち方も教わることができたようです。

昨年度の6年生がそうであったように実行委員の子どもたちが長放課を中心に演技を考え、体育の時間に全体に伝え、練習しています。本日も運動場から練習の声が聞こえてきました。普段の運動会の練習は教員が進めていますが、今回の6年生は実行委員が考えて進めています。「じゃあこっからやるよ」「もう一回やってみるよ」「いっぺん振るのやめてこっち見て」「フラッグは2時の方」「ここまでOK?」「じゃあ次に行くよ」など、元気な声が聞こえてきました。まるで教員がやっているようです。そして、何よりもいいなあと思うのは、実行委員のその呼びかけに対して、「はい」とみんなが返事をしていることです。「やらされている」ように感じれば返事は出てこないと思っています。実行委員もそうでない子どもみんなと一緒に演技を完成させようという気持ちで取り組んでいることが分かり、大変嬉しく思っています。

新型コロナウイルス感染症により運動会の実施方法が大きく変わりました。それはコロナの感染を防止するためという変更ではありましたが、その中で子どもたちが自主性や主体性を育ぶことに時間を費やすことができるようになりました。そして、各学年が互いの演技を見合っ、感想を交換したり、アドバイスを伝えたりすることなど、これまでにはなかった取組ができるようになりました。コロナをきっかけに子どもたちを伸ばすためのよりよい方法を探る、そんな視点で、「運動会」を見つめ直すことができたと思っています。当日を楽しみにしててください。